

にじのメッセージ

企画・編集～鶴田町子育て支援センター（つるた乳幼児園）Tel.0173-22-3765

感 謝

つるた乳幼児園 園長 福澤紀子

鶴田町に社会福祉法人いずみ会として根を下ろして48年目を迎えました。児童福祉法の基ひとり一人の子どもの尊重と人権を守り、この世に必要とされて誕生した「いのち」に寄り添う。平等の不平等そして差別のない保育（教育）を実践してまいりました。修了した園児は平成最後となるこの春で1009人となりました。一貫して人格教育を謳い人間としての生き方を追求するそのものです。

創設時60人定員、3年後、増築し120人定員、就学猶予がまだあった時代、しょうがいをおった子どもが6歳で入園しました。一年間だけでしたが何の戸惑いもなく笑顔で迎え入れました。子どもには、ひとり一人成長の仕方があり、その違いを認め合ひましょうの一言で始まりました。その後、鶴田町でしょうがい児保育が条例化、つるた乳幼児園が委託を受けることになりました。平成7年、県より改築のお話をいただき、併設鶴田町子育て支援センター拠点事業の依頼を受けることになりました。改築は考えていたものの、時期はもう少し先との構想だったため改築には相当なエネルギーを注ぎ、深い思いと覚悟をもって望んだことと思います。いつも子どものこと家族のこと職員のこと地域のこと、21世紀型の保育・教育とはと考えた末に、木造建築にこだわり、国においては木造建築の認可が難しい時代の中で、木のぬくもりこそが子どもの成長にふさわしいと力説して県や国に対して折衝していたのを思い出します。

改築した園舎は木のぬくもりを感じる素敵な建物で～森といずみとにじの園～とネーミングされ、「森」には子ども達は自然の中で育ちその自然の中でいのちの息吹を感じ、冬であっても森を感じられるようにとホールの梁を緑色にしています。「いずみ」は21世紀こんこんといのちが沸き出、いのちがつながるように、「にじ」については、自然の恵みに感謝して人間は自然の中で生かされているということを忘れてはいけないと私たち人間を戒める意味で「にじ」を掲げています。それぞれに願いが込められているのです。また人間はまっすぐ前を見て天（希望）を仰ぎ、互いに助け合って本物の愛を目指して共に生きること、さまざまな花（ひとり一人の子ども・大人）が咲きみだれている場所で「園」と表現、皆が集う“つるた乳幼児園”がそこに存在しています。子どもの園では、ところせましと走り回る子どもたち、自ら体験することで学びとする体験型保育と教育（すべての子どもたちが取り組める環境構成とひとり一人への配慮）に取り組んでいるとともに、保護者と私たち職員は大きな家族として共有・協働しあえる関係に努めています。

平成17年4月塩見久夫園長先生が不治の病に冒され余命3ヶ月と医師から宣告を受けました。その混乱の中で塩見園長先生が言い残したことは、「人間は目標達成を目指して誰もが生きているが、道半ばで誰かにたすきを渡すという事もある。目標を直前にして私は行き着くことができない、先生にこの理念のたすきを託し、後は先生たちで目標を目指して頑張って！！応援してるよ。」と言われました。この時は深く考える余裕もなく、引き継ぎ重責に押しつぶされそうになりながらも皆さんに応援、支えてもらい職員一丸となり現在に至っています。本当に感謝です。後に、塩見園長先生が話した内容が旧約聖書の申命記（モーセの死）の箇所だとわかりました。本当に信仰深い人でした。ベットで一瞬一瞬祈っていると話されたのをしっかりと記憶しています。

平成 27 年幼保連携型認定こども園に移行“こども園 つるた乳幼児園”としてスタートしました。以前より教育を謳っていながら、法律上は教育ではないとされていたのがこれを機会に教育を堂々と謳うことができるようになりました（福祉が基本）。子どもたちの成長は日本の未来を左右します。子どもにとっての「学び」・「育って欲しい姿」は大人にとって都合のいい子どもではなく、年齢に応じて自然の中で「不思議を発見」・「観察して確かめる」・「謎が解けて達成感」を繰り返しています。子どもの世界は自然と触れ合いながら、生きることの楽しさも同時に学んでいます。この子どもの世界を私たち大人の責任において保障してあげなければならないと思います。このことは決して忘れてはいけないことです。昭和、平成、これから迎える令和においても、子ども達の育ちに変わりではなく私たちは子どもたちと応答的に関わり、地域の子育てにおいても一助となり得るように、更に努力を重ね、新しい元号を迎えたいと思います。 感謝

平成30年度第2回育児講座報告

「親子で楽しむ 津軽の語部」

と き：平成 31 年 2 月 16 日（土）

午前 10 時

ところ：つるた乳幼児園 にじのホール

講 師：津軽カタリストの皆さん

津軽カタリストの皆さんによる、映像、音楽も使って、お話をさせていただきました。

津軽富士見湖物語を初めて聴く方も多かったのではないのでしょうか。津軽富士見湖へ訪れた際はこのお話を思い出すことでしょう。

子どもも、大人もお話の中に引き込まれ、豊かな時を過ごすことができました。



育児講座開催お知らせ

2019 年度第 1 回育児講座

「いのちを育む」

～ひとり ひとりが 大切な存在～



と き：2019 年 6 月 14 日（金）午後 6 時 30 分

ところ：つるた乳幼児園 にじのホール

講 師：元養護教諭 齊藤秀子氏

お腹の中でいのちが誕生する瞬間の感動や、保健室登校での生徒との交わり、また自分の子育てから乳幼児期の大切さ等についてお話していただきます。

どうぞ、皆さんお誘いあわせのうえ、ご参加下さい。